

内部統制継続年度評価支援サービス

内部統制をスムーズに遂行するためには、各フェーズにおいてそれぞれ高い能力が必要となります。ジェクシードでは、お客様の目的、フェーズ、ボリュームに合わせた様々なサービスをご提供いたします。公認会計士等の有資格者を中心としたコンサルティング経験により得た高度なノウハウを生かして、お客様の内部統制構築を全力で支援いたします。

■ 適用初年度を振り返って

内部統制報告制度の適用初年度は、「初めての経験」ということもあり、多くの上場企業が、多大なコストと時間を費やして、内部統制の有効性を表明するための準備活動を行ってきました。2年目を以降も継続的に、財務報告に係る内部統制を評価・報告することが義務づけられており、初年度と同様の活動を継続していかなければなりません。初年度と同様のお膳立てを整えるわけにはいかず、「効率的な活動」を検討する必要があります。

弊社では、このような企業の検討課題に対して、これまでの内部統制支援の豊富な実績を元に「内部統制継続年度評価支援サービス」を提供致します。

■ 継続年度における課題

多くの上場企業様が、初年度の対応を終え、継続年度の評価を準備する中で以下に代表される課題を抱えていらっしゃいます。

① 監査法人からの指摘事項

初年度の内部統制報告書に対し、数多くの課題を指摘され、その対処方法を具体化できていない。

② 評価体制確立の遅れ

初年度の対応を終え、体制の縮小や外部支援の契約終了などで、継続年度評価体制の確立が遅れている。

③ 評価の方針や計画の未整備

初年度対応の直後であり、継続年度の評価のための内部統制評価の基本方針や計画が確立できていない。

④ 膨大な評価業務

統制上の要点(キーコントロール)を熟考せずに選定した事により、運用テストの業務負荷が膨大である。

⑤ 本質的な改善活動の棚上

監査法人からの不備の指摘に対して、初年度では緊急回避的に対応してしまっている。

⑥ 専門家(ノウハウ)の不足

専門家から十分なアドバイスを受けなかったため、監査法人からの指摘も多く、作業の手戻りが発生する。

⑦ コスト削減

昨今の景気悪化に伴い、内部統制評価業務のトータルコストが削減され、より効率的な作業が求められる。

ジェクシードでは、上記の課題に対して、豊富なコンサルティング実績にて得たノウハウを生かした、適切な解決方法にてご支援させていただきます。

内部統制継続年度評価支援サービス

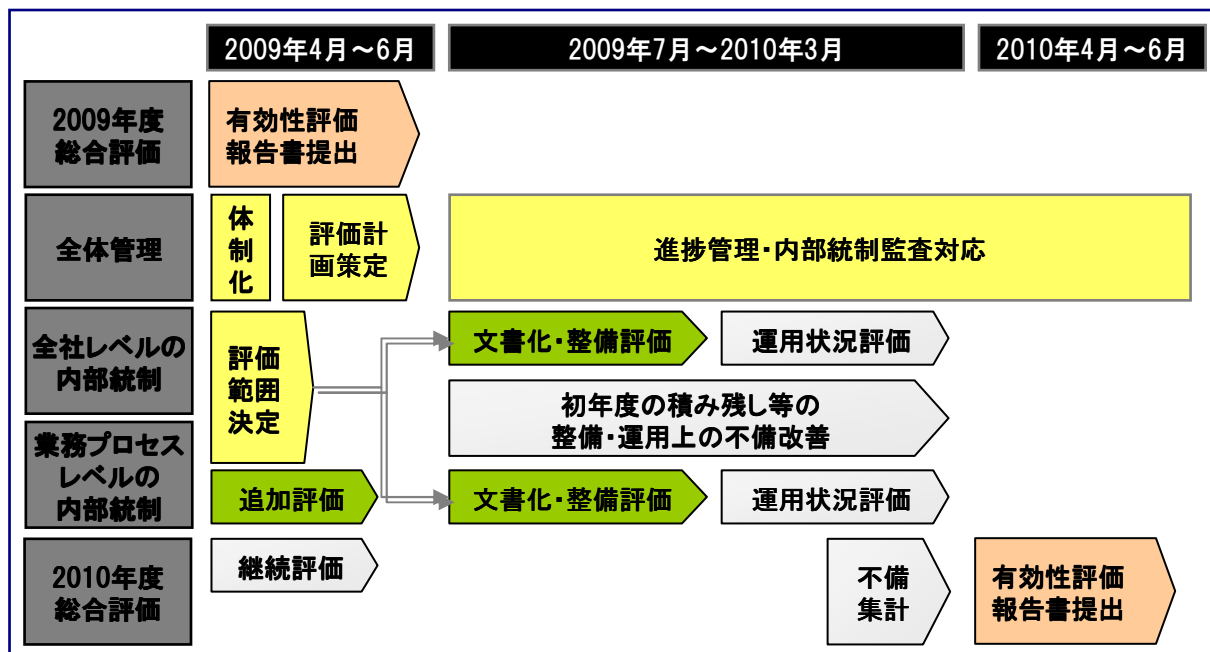
■ 内部統制継続年度評価支援サービス

お客様の課題の内容に合わせて、下記2つのサービスを提供します。

サービス	内容	メニュー
内部統制評価の効率化支援	公認会計士による内部統制評価の効率化のためのアドバイスやノウハウをご提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方針/計画の立案 ・評価方法の改善 ・キーコントロールの見直し ・業務改善の提案 ・監査法人対応
内部統制評価の作業支援	評価計画策定から実施まで内部統制評価要員をご提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト管理 ・評価マニュアル策定 ・文書化実施/レビュー ・評価実施/レビュー ・教育 など

■ 継続年度(2年目)のスケジュール(3月決算会社例)

一般的に2年目以降は、下記のようなスケジュールで内部統制作業が進んでいくと想定されます。今年度の評価につきましては、早い段階での方針・計画の策定が必要とされます。



ジェクシードでは、上記の各フェーズに対して、必要なタイミングで必要なご支援内容のプランニングが可能ですが、手戻りなど非効率を発生させないためには、早い段階でのご支援開始が最善と考えます。